

がん相談支援センター利用者への説明文書

「がん相談支援センターご利用にあたってのアンケート」の

ご協力をお願い

【はじめに：この説明文書について】

この説明文書は、大阪府下のがん診療（連携）拠点病院のがん相談支援センターをご利用された方（利用者）を対象に、今回のアンケート調査（「がん相談支援センターご利用にあたってのアンケート」）の概要等を説明させていただくために、ご用意しました。

【本調査の研究概要、目的および意義】

がん相談支援センターは、がん患者さんとそのご家族の治療上の不安や悩みに対応するために設置された部署で、2005年の厚労省がん対策アクションプランにより全国のがん診療連携拠点病院に設立が開始されています。大阪府内でも、現在、厚生労働省（国指定）及び大阪府指定のがん診療（連携）拠点病院にがん相談支援センターが設置され、がん専門のがん相談員である医療ソーシャルワーカーや看護師が、患者さん、そのご家族、地域の皆様方に、がんに関する医療情報の提供をはじめ、さまざまな疑問や悩みをお聴きしながら相談者の立場にたって一緒に考え、よい方法を見つけるお手伝いをしています。

しかし、本当に、がん相談支援センターの利用者ががん相談支援センターより満足したサービスを受けることができているのか、また、どの地域においても満足できるサービスの提供を受けることができているのかなど、現在、未だ十分なデータはありません。そこで、今回、大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課生活習慣病・がん対策グループ（以下、大阪府健康医療部）及び大阪国際がんセンターは、大阪府内のがん相談支援センターで行われているがん相談支援が利用者ニーズに十分に対応し満足できる提供ができていくかについて、アンケートによる実態調査を行うことにしました。

大阪府健康医療部及び大阪国際がんセンターは、今後がん相談支援センターのサービスを一層充実させていきたいと考えていますが、このアンケート調査結果はその重要なデータ（資料）となりますので、本研究調査の趣旨をご理解いただき、是非、ご協力をお願いします。

【本調査への参加対象者】

今回、参加対象者は、がん診療（連携）拠点病院のがん相談支援センターをご利用された20歳以上の利用者で、患者さん以外に、ご家族、ご友人などの一般の方も含みます。

加えて、以下の条件を満たされる方を対象とさせていただきます。

（適格条件） 本アンケート調査の自記式調査票の記入が可能である。

（除外条件） 本調査協力することによる心身の負担の影響が大きいと予測される方は、除外とさせていただきます。

【調査方法と期間】

1. 別紙のアンケート調査票に、ご回答をお願いします。回答に要する時間は5分程度です。なお調査票には、以下の大きく3つの項目からなる質問が設けられています。

1. 回答いただける方の、背景およびご相談された内容について
2. 今回、ご相談に対応したがん相談員について
3. がん相談支援センターへのご意見、ご要望について

2. アンケート調査票の記載は、病院などの施設、ご自宅など、いずれの場所でもかまいません。記載が済まれましたら、お手数ですが返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函をお願いします。

3. この調査は2020年10月末まで行われますので、それまでに投函をお願いします（2020年10月31日まで、消印有効）。

【調査への参加は自由です】

この説明文書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、参加されるか否かを、あなたの自由な意思で決めてください。調査協力にご同意いただければ、アンケート調査票の「調査に協力します」にチェックをお願いします。

以降の質問で、お答えになりたくないところは、お答えいただかなくても構いません（空欄にしておいてください）。研究への参加に同意された後でも、記載途中でとりやめることもでき（同意撤回）、その際にはアンケート調査票を破棄ください。

ただし投函後については、無記名のため個人の特定が困難であり、アンケートの回答の内容について撤回はできませんので、ご注意ください。

なお、本調査票の回答記載が始まってからでも、心配なこと、分からないことなどがありましたら、いつでも遠慮なくお問い合わせ窓口までご質問ください。

【予想される利益と不利益（負担）】

① 予想される利益

本調査結果は、大阪府下のがん診療（連携）拠点病院に設けられているがん相談支援センターの相談支援の質の改善、サービス向上を図るための、今後の貴重な検討資料となります。

② 予想される不利益

本調査票の回答には、5分程度のお時間を要するご負担が予想されます。

また、もしご協力いただけない場合でも、あなたに提供される相談支援センターからのサービスや、診療、看護等に影響（不利益）をうけることは一切ありません。

【経済的負担】

本調査への協力者には、この調査による経済的負担はありません。

【個人情報の取り扱いについて】

この調査では、アンケート用紙に各病院の識別番号を設けていますが、無記名であり、かつ、個人を特定するような質問は設けていませんので、個人情報は十分に保護されています。

またこの調査で得られたデータを、後日に、以下に示すような公表を予定していますが、個々の協力者の病名や相談内容などプライバシーの情報が外部に漏れることは全くありません。加えて、以下の公表等以外の目的で、これらのデータを使用することはありません。

【調査結果の公表について】

本調査における結果は、調査協力者が特定できないようにした上で、ホームページ等で公開する予定です。

また、本調査の結果は、大阪府がん診療連携協議会、相談支援センター部会、各2次医療圏ネットワーク協議会など大阪府下のがん診療（連携）拠点病院間の協議会等の会議を介して、情報提供を行う予定です。その際にも、個々の協力者のプライバシーに関する情報は洩れることはありません。

【本調査の資金について】

本調査は郵送費用については大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課の一般会計予算より、集計業務委託費用はがん診療連携拠点病院機能強化事業から資金提供をうけて行われますが、特定の団体からの資金提供は受けておりません。

【本調査による知的財産権の帰属】

本研究調査の成果から、知的財産権等の権利が生み出される可能性があります。しかし、それらの権利の帰属は大阪府健康医療部および大阪国際がんセンターに属し、個々の調査協力者にはありません。

【回答いただいた調査内容および記録の取り扱い】

本調査にご回答いただいたアンケート調査票は、大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課の鍵のかかる場所に保管し、調査終了後5年の時点で、全てシュレッダー等にて復元不可能な形で破棄します。

【本調査の科学的・倫理的な妥当性について】

本調査を行うにあたり、研究調査責任施設である大阪国際がんセンターの倫理審査委員会、及び関西医科大学総合医療センターの研究倫理審査委員会にて、科学的・倫理的な側面について審議が行われ、内容や方法が適切であることが確認され承認が得られています。

【関西医科大学総合医療センターにおける研究調査責任者・担当者等の氏名および職名】

研究責任者

関西医科大学総合医療センター
がん治療緩和ケアセンター 副センター長 徳原 克治

メンバー一覧

関西医科大学総合医療センター
がん相談支援センター 相談員 佐伯 久美子
江田 賢一
中西 信一
神戸 耀

予定症例数 10件

【研究調査責任者】

連絡先 大阪国際がんセンター がん相談支援センター 池山晴人
大阪市中央区大手前 3-1-69 電話番号：06-6945-1181（代表）

【お問い合わせ】

このアンケート調査に関して、分からなことに、相談したいことがありましたら、以下までご連絡ください。

主に本研究調査主旨等に関しては、

大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課生活習慣病・がん対策グループ

主事 羽田野 結

〒540-8570 大阪市中央区大手前 2-1-22

電話：06-6941-0351（代表） 内線 2668 FAX：06-6944-7262

主にアンケート内容等に関しては、

大阪国際がんセンター がん相談支援センター 池山晴人

大阪市中央区大手前 3-1-69 電話番号：06-6945-1181（代表）